

一条
ichijyo



ロゴマークができました

病院長 森 崇英

本院の誕生は平成元年ですから、一昨年20歳の成人になったこととなります。この節目に何か記念になる物を残しておきたいと考えておりましたが、諸般の事情で延び延びになっておりました。

その記念事業の1つにロゴマークを考えていました。落ち着いた頃を見計らって、昨年(平成21年)の秋頃、情報広報審査会にロゴマークの策定を提案し、院内・外から候補を募って選考を進めて参りました。そして今年1月、新年の職員懇親会で最終選考に残った3つの候補の中から、職員懇親会の参加者だけでなく、勤務中の職員も含めた全員の投票により巻頭に掲げたロゴに決定しました。

コンセプトを簡単にご説明します。本院が緑豊かな京都御所の近く的一条通(本誌の名

前の由来)に面しているの、柔らかな植物の葉を使って、本院の理念である「愛・仁・信」を右半分でイメージし、かつ患者様に心暖かく接するという意味を込め全体としてハートを図案化したものです。

ロゴマークは病院のシンボルです。私どもの誇りと心の故郷となるべきものです。職員の皆様にはもちろん、連携病院の先生方、そして患者様に早く馴染んで親しんでいただき、理念と同様末永く育てていただきたいものと希望致します。

